

静高野球部(HP用)

H26 春季大会 静内高校(紹介)

第53回春季全道高校野球大会(道高野連、北海道新聞社主催)の室蘭支部予選が10日、苫小牧緑ヶ丘球場で開幕する。胆振、日高管内の23校が出場し、初日は鶏川―登別青嶺(午前9時)、伊達緑丘―道大谷室蘭(午前11時半)、浦河―室工(午後2時)の1回戦3試合を予定。順調に日程が進めば準決勝は17日、決勝は18日に行われる。今春の選抜大会に出場した駒大苫小牧は既に推薦枠での全道大会(26日開幕、札幌円山球場)出場を決めているため、同校を除いた22校のうち最上位のチームが全道大会への出場権を得る。駒苫が軸となり、支部代表争いは昨秋の支部予選Aブロック決勝で駒苫に1―2で惜敗した道栄と、Bブロック優勝の苫中央を中心に混戦が予想される。

(苫小牧緑ヶ丘球場)		15日 10:00		17日 10:00		18日 13:00		16日 10:00		17日 12:30		16日 12:30		14日 14:00	
苫中央	富川	登別青嶺	鶏川	室東翔	室清水	伊達緑丘	道大谷室蘭	室工	浦河	道栄	駒大苫小牧	苫西南	苫えり	苫高専	室栄
12日 11:30	15日 10:00	10日 9:00	12日 14:00	17日 10:00	13日 9:00	10日 11:30	15日 12:30	10日 14:00	13日 11:30	18日 13:00	13日 14:00	11日 9:00	16日 10:00	11日 11:30	14日 9:00
苫中央	富川	登別青嶺	鶏川	室東翔	室清水	伊達緑丘	道大谷室蘭	室工	浦河	道栄	駒大苫小牧	苫西南	苫えり	苫高専	室栄

静内

左右の本格派が自慢

<予想メンバー>

(投)	前川③
(捕)	大塚③
(一)	中鉢③
(二)	三間③
(三)	島山③
(遊)	中田②
(左)	大谷③
(中)	千葉③
(右)	前野②
(補)	◎赤石③
(〃)	吉田③
(〃)	小田②
(〃)	柏木③
(〃)	吉川③
(〃)	村田②
(〃)	川瀬①
(〃)	発田①
(〃)	木村①

雪が少ない地の利を生かし、冬期間も夏と変わらない練習をしてきた。右の前川、左の吉川の両本格派投手を中心に、守備からリズムを作る。

前川は186㌢、吉川は178㌢と長身から繰り出すストレートが武器。冬場のウエートトレーニングで体重とともに、球威も増した。制球力が武器の吉田、2年生の小田も控える。

攻撃は、上位から下位までとぎれない打線が魅力。三間、前川、大塚、中鉢は長打力があり、破壊力は十分。俊足の1番千葉が攻撃の口火を切る。

春の高校野球

室蘭支部予選きょう開幕

静高野球部(HP用)

H26 春季大会 静内高校(1回戦)

春の高校野球予選

室蘭支部

第53回春季全道高校野球大会(道高野連、北海道新聞社主催)の室蘭支部予選は大会3日目の12日、苫小牧緑ヶ丘球場で1回戦1試合と2回戦2試合を行った。静内は10-0で厚真に、苫中央は9-0で富川にそれぞれコールド勝ち。鶴川は4-3で室東翔を振り切った。13日は2回戦3試合を行う。(角田悠馬)

▽1回戦
厚真 0000000000
静内 0000352X100

(六回コールドゲーム)

厚193606 加藤：津橋

打安振球失

静2810210 前川：大塚

▽三塁打 三好(厚) 前野、前川

静内は四回、中鉢の2点適時打で先制し、さらに前野の三塁打で1点を追加。五、六回にも前川の三塁打、千葉と中田の単打、相手の失策をからめて計7点を奪い、コールドゲームに持ち込んだ。

厚真は四回以降、守備が乱れ、打線も振るわなかった。

静内、苫中央コールド発進

◇室蘭支部 (苫小牧緑ヶ丘球場)

苫中央	9-0	15日10:00
富別青嶺	7-1	17日10:00
登鷗川	4-3	13日9:00
室東翔	17日10:00	
室清水	13日9:00	
伊達緑丘	2-1	15日12:30
道大谷室蘭	15日12:30	
室浦工	4-2	13日11:30
道河	13日11:30	
駒大苫小牧	18日13:00	
苫小牧	13日14:00	
苫西南	8-7	16日10:00
苫り高	7-0	14日9:00
苫え苫	14日9:00	
室伊	17日12:30	
苫白	14日11:30	
厚老	9-0	16日12:30
静東	10-0	14日14:00
苫内東	14日14:00	

H26 春季大会 静内高校(2回戦)

苦東、接戦制し8強

苦工、伊達にコールド勝ち

春の高校野球予選

室蘭支部

第53回春季全道高校野球大会（道高野連、北海道新聞社主催）の室蘭支部予選は5日目の14日、苫小牧緑ヶ丘球場で2回戦3試合を行った。苫高専は2-0で室菜を下し、苫工は10-0で伊達に五回コールド勝ち。苫東は4-3で静内を振り切った。これで8強が出そろい、15日は3回戦2試合を行う。（角田悠馬）

▽2回

[illegible]

苦東が序盤に挙げた4点

芒東が序盤に挙げた4点を生かし、3投手の継投で逃げ切った。一回、井内の適時打で先制すると、二、三回にも渡辺の適時打、石山のスクイズで加点した。

静内は五回、押し出しの四球で1点を挙げ、八回には前川が2点本塁打を放ったが、及ばなかった。

▼静内、終盤の追い上げ届かず 1点差で惜敗した

静内。エースで4番の前川幹貴選手が三回途中からマウンドに上がり、自責点0の好投、打っても8回に左中間に2点本塁打を放つなどの活躍をみせ、苦東を最後まで苦しめた。

本塁打は「狙っていた」
低めのストリートを思い切り振り抜いた。「おまえが塁に出れば、必ず俺が返す」と声を掛けた3番の三間拓実選手が単打で出塁した後の一撃とあって、見事に約

束を果たした形だ。

冬期間に体重を約15^{kg}増やし、パワーが増した実感も得ていた中での一発だった。チームは敗戦。「あと1点欲しかったが、これも野球」と話し、「夏までには、もっと自信をもつてプレーできるような練習したい」と雪辱を誓っていた。



◇室蘭支部
(苫小牧緑ヶ丘球場)

吉富登鵲室伊道室浦道駒	中央別青嶺川東翔水達緑丘大谷室工河栄小牧	9-0 15日18:00 7-1 4-3 17日10:00 10-0 2-1 15日12:30 4-2 2-0 18日13:00 1-0
吉富え苔室伊苔白厚静苔	西南も専栄達工東真内東	8-7 16日10:00 7-0 2-0 17日12:30 10-0 9-0 16日12:30 10-0 4-3

3点を追う八回、左中間に2点本塁打を放った静内の前川選手